

岐阜商工会議所

岐阜高島屋・岐阜県・岐阜市・岐阜商工会議所
4者による地域活性化包括連携に関する協定締結式

今 回の協定では、4者が連携して岐阜の活性化に取り組んでいきますが、当所では、岐阜の産業・産品のブランド化に注力していきます。

これまでも、岐阜高島屋の協力のもと、岐阜の活性化のためにいくつかの事業をおこなってきた実績があります。

例えば、平成24年のぎふ清流国体の際、全国から多くの方が訪れる絶好の機会に、岐阜の魅力伝える手土産として「ぎふ長良川銘菓 鮎めぐり」を開発しました。

岐阜市の老舗和菓子屋の鮎菓子をひとつの箱に詰め合わせるといふ非常に困難な企画でしたが、岐阜高島屋で販売していただけたというところで和菓子屋の皆様にご承を得て進めることができました。企画がスタートしてからは、高島屋さんからはパッケージから食品表

示に至るまで、いわゆる高島屋クオリティに達するまで指導していただき、今ではこの「鮎めぐり」は累計2万箱以上販売される岐阜の人気手土産の一つとなっており、岐阜の鮎菓子の知名度向上に一役買ってまいります。

また、「岐阜シャツ」や「長良川のおくりもの」など、岐阜高島屋の指導を仰ぎながら岐阜ならではの一品を開発して参りました。

今後はこの連携協定のもと、岐阜高島屋のみならず岐阜県や岐阜市にも協力していただきながら、2020年に東京で販売できるような岐阜ブランド商品の開発や産品のPRを加速させることで、東京オリンピックの際に全国・世界中から集まる方たちへ岐阜の魅力を発信していくことを目標に、全力を尽くしていきたいと考えております。

岐阜ブランドの商品



● **ぎふ長良川銘菓 鮎めぐり**
岐阜市内の老舗和菓子店5店の鮎菓子7品を1箱に詰め合わせた人気商品。



● **岐阜シャツ**
平成30年夏季 岐阜高島屋6階紳士服売場において、ビジネスシーンでより涼しくより格好よく着こなせるデザインで、色は青と白の2色を展開した。



● **岐阜ポロ**
平成29年夏季 岐阜高島屋6階紳士服売場において販売。ビジネスはもちろんスポーツシーンや普段着にも着用でき、色は赤と紺の2色を展開した。



● **長良川のおくりもの**
長良川文化と関わりが深い逸品を詰め合わせた涼を楽しむ夏の贈り物に最適な商品。



水うちわ

やき鮎

美濃和紙タオル

岐阜県

県下唯一の百貨店で
県産品のPRを



岐阜県知事
古田 肇 氏

岐 岐阜高島屋は県下唯一の百貨店であり、県都岐阜市の中心市街地に店舗を有しこの地に根付いて活動されています。

現在考えている、県と岐阜高島屋との主な連携について、ご紹介させていただきます。

「地域社会の活性化」の分野では、海外でおこなうインバウンド誘致活動の中で、海外でも高い人気を誇る高島屋の知名度を生かした岐阜高島屋のPRに協力いたします。「商業振興・産業振興」の分野では、地域の優れた産品を、高島屋のノウハウとブランド力を生かして、販路拡大を図っていきます。来年には「日本スポーツマスターズ2019ぎふ清流大会」、2020年には「ねんりんピック岐阜2020」と、大規模イベントの開催が相次いで予定されているため、

岐阜高島屋での物産展や販売イベントを開催することで、岐阜を訪れる方へ県産品のPRを図ります。また、県のふるさと納税返礼品のPRに、高島屋の会員ネットワークを活用させていただきたいと考えています。

この他にも「子育てや健康づくり」「防災」など、県民生活に密接に関係した分野においても、多くの店舗が入居し、人が集まる場である岐阜高島屋に期待する部分は大きく、協力体制を広げていきます。

岐阜県では、協定書を交わすだけでなく、具体的な事業を進めていくことを重視したいと考えており、今後4者がお互いの強みを活かして岐阜県の発展、活性化につなげていくことを期待します。

岐阜市

オール岐阜による
成長都市を目指して



岐阜市長
柴橋正直 氏

岐 岐阜市は「ひととまち、集い交わる活力と笑顔あふれる成長都市ぎふ」を未来像に掲げ、成長都市を

長し続ける都市となることを目指しております。成長都市の実現のためには、都市の核である中心市

株式会社岐阜高島屋

日本全国及び海外拠点のネットワークを活用して地域の活性化



株式会社岐阜高島屋
代表取締役社長
松本正樹 氏

当 社は、地域に根ざした百貨店経営を方針とし、岐阜柳ヶ瀬の地で40年間事業を営んできました。

近年、岐阜においては、中心市街地活性化への取り組みが進められています。街の再生が託される

高島屋南開発事業を目前にした中、当地域の経済的・社会的な活性化は、当社の自らの命題といつても過言でなく、百貨店の持つ様々な「良さ」を積極的に発信し、開発事業とともに地域の発展に寄与していきます。

当社の持つイベントにてライフスタイルを創造し提供する編集力と、徹底的に訴求する発信基地としての役割を持って、地域の農林水産、伝統工芸、観光サービス、スポーツ文化の担い手を全国にアピールすることに貢献していきます。高島屋グループは、関東・関西・中部地域を中心に全国にバランスよく展開しております。海外には、ベトナムのホーチミン、中国の上海、シンガポールに店舗がありますが、この11月にタイのバンコクにも新たにオープンしました。現地で蓄積された外国人の嗜好品などのデータを、来岐



するインバウンド客に活用できたらと考えています。

岐阜でいいものを作っている事業者とつながり、ともに成長していきたいと思っています。

地方百貨店は、厳しい経営環境にありますが、地域から支持されご愛顧賜われますよう、従業員と高島屋グループ一体となって努力し主体的に行動していきます。

街地が魅力的であること、つまり、人が住みやすく商業が発達で活力あることが重要です。

地域社会の活性化においては、高島屋商品をふるさと納税の返礼品に活用した地域プロモーションの拡大、中心市街地でのイベント連携、インバウンドの推進を目指します。

商業・産業振興においては、高島屋バイヤーが発掘した市産品の販売、岐阜ブランドである「ぎふべ

ジ」の全国発信をおこないます。また、高齢者福祉の推進や大規模災害時の臨時避難所としての開放などに取り組みます。

4者がこれまで以上に緊密な連携・協定関係を築き、それぞれの分野でプロジェクトを推進することで、岐阜市が「住む人・来る人・働く人を増やす成長都市」となるよう、「オール岐阜」によるまちづくりを進めてまいりたいと思います。

各団体を取り巻く状況	
社会情勢	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル化 ●第4次産業革命 ●地方創生 女性活躍 ●消費税の税率拡大 ●人口減少 少子高齢化
まちの状況	<ul style="list-style-type: none"> ●インバウンドの増加 ●オリンピック ●リニアインパクト ●中心部の求心力の低下 ●郊外店の拡大
ひと(価値観)の変化	<ul style="list-style-type: none"> ●ライフスタイルの変化 ●購買方法の多様化 ●消費志向の変化 ●人生100年時代

課題の解決変化への対応



連携が生みだす可能性
これからの地域活性化に大きな期待

今回の4者協定で、「産業・振興」、「ふるさと納税」、「インバウンド文化交流」、「地域福祉」、「まちづくり」、「防災・災害対応」の6つの分科会が立ち上がりました。

百貨店、行政、経済界がそれぞれの強みを活かして様々な分野で一体になれるかどうかで中心市街地の展望が左右されると思われれます。すでに活動をはじめた分科会もあり、地域活性化に向けて一歩踏み出しました。